プログラム

13:00～13:10　はじめに

日本アミノ酸学会　会長挨拶　加藤久典

産官学連携シンポジウム実行委員長挨拶　平林由理

13:10～13:40　第 1 部　アミノ酸の起源

座長：宇都宮大学　吉澤史昭

13:10～13:40「宇宙および原始地球上でのアミノ酸の起源」

小林憲正（横浜国立大学）

13:40～15:10　第 2 部　タンパク質・アミノ酸の正しい理解と利用に向けて

座長：味の素（株）　小林久峰

13:40～14:10「日本食品標準成分表2015年版におけるたんぱく質およびアミノ酸」

渡邊智子（千葉県立保健医療大学）

14:10～14:40「日本人のたんぱく質、アミノ酸摂取量の現状」

高田和子（医薬基盤・健康・栄養研究所）

14:40～15:10「アレルゲンとなる食物タンパクの摂取に関するパラダイムシフト」

大矢幸弘（国立成育医療研究センター）

休憩（15:10～15:20）

15:20～16:35　第 3 部　アミノ酸科学の可能性

座長：東京大学　加藤久典

15:20～15:50「アミノ酸で植物の病害抵抗力をパワーアップ」

瀬尾茂美（農業・食品産業技術総合研究機構）

15:50～16:35「特殊ペプチド創薬イノベーション」

菅　裕明（東京大学）

16:45～17:45　第 4 部　ポスターセッション

17:45～19:00　第 5 部　ミキサー（於：セイホクギャラリー）

ポスター発表プログラム

P-01　毛髪診断のためのアミノ酸分析技術革新

堂前　直
（理化学研究所　環境資源科学研究センター　生命分子解析ユニット）

P-02　D, L-アミノ酸の高速・高感度一斉分析を実現する新規軸不斉キラル誘導体化試薬開発

原田真志、唐川幸聖、新保和高、山田尚之、宮野　博
（味の素株式会社　イノベーション研究所）

P-03　アミノ酸分析におけるプレカラム自動誘導体化法の開発

岩田敏明[1]、山田佳代子[2]、塩田晃久[2]、江崎達哉[1]
（[1]日本ウォーターズ株式会社、[2]エーエムアール株式会社）

P-04　In vitro 運動モデルを用いたβ-ヒドロキシ-β-メチル酪酸（HMB）の作用メカニズム解析

佐藤聡子、高村裕介、野村　充、内山　章
（ライオン株式会社）

P-05　バリンによるラット水泳運動負荷時の抗疲労効果

津田悠一、岩澤佳緒里、山口　真
（株式会社明治　研究本部　技術研究所）

P-06　指標アミノ酸酸化法を用いた持久運動後の制限アミノ酸の解明

加藤弘之[1]、Kimberly A. Volterman[2]、Daniel W. D. West[2]、鈴木克也[1]、
坂内　慎[1]、Daniel R. Moore[2]
（[1]味の素株式会社イノベーション研究所、[2]トロント大学）

P-07　幼児期（1～3 歳）のたんぱく質・アミノ酸必要量と摂取実態

高橋啓次
（株式会社明治　研究本部　技術研究所　栄養研究部）

P-08　糖尿病モデルラットにおけるコラーゲンペプチド含有食品の皮膚創傷治癒への影響について

山下治香、三木新也、戎　五郎、岩切　洋
（株式会社大塚製薬工場　OS-1 事業部）

P-09　末梢静脈輸液による術後早期のアミノ酸投与が低タンパク質栄養ラットの栄養指標及び創傷治癒にもたらす効果

和田　晃、園田千明、牧野祐哉、濱　祐樹、長濱彰宏、原田大輔
（株式会社大塚製薬工場　研究開発センター　鳴門研究所）

P-10　アミノ酸およびホエイプロテイン混合物を単回摂取した際の血中アミノ酸応答およびホルモン分泌に及ぼす影響

清水宗茂、塩川明菜、桜井政夫、濱田広一郎
（大塚製薬株式会社 佐賀栄養製品研究所）

P-11　ラットを用いた発酵乳たんぱく質の吸収性と筋たんぱく質合成作用の検討

角　公一郎、長田衣代、芦田欣也、池上秀二
（株式会社明治　研究本部　技術研究所）

P-12　スケソウダラタンパク質摂取は骨格筋を増加する

藤谷美菜[1]、内田健志[2]、韓 力[2]、速水耕介[3]、岡田晋治[4]、岸田太郎[1]
（[1]愛媛大学　大学院農学研究科 生命機能学専攻 応用生命化学コース　栄養科学教育分野、[2]日本水産株式会社　食品機能科学研究所、[3]横浜薬科大学　薬学部　食化学研究室、[4]東京大学　大学院農学生命科学研究科　ILSI Japan 寄付講座「機能性食品ゲノミクス」）

P-13　L-シトルリンの摂食抑制を介した抗肥満作用とメカニズムの評価

山岸淑恵[1]、工藤麻耶[2]、吉富久恵[2]、桃尾麻岐[2]、勝呂　栞[1]、高　明[2]
（[1]プロテインケミカル株式会社、[2]武庫川女子大学薬学部）

P-14　鶏由来機能性ペプチドの脳老化予防効果

佐藤三佳子[1]、山下俊太郎[1,2]、長谷川隆則[1]、片倉喜範[3]
（[1]日本ハム株式会社中央研究所、[2]九州大学大学院農学研究院）

P-15　ヒスチジンの疲労感低減機能に関する研究

笹原育子[1]、安居昌子[1]、杉田麻友[1]、柴草哲郎[1]、藤村尚子[1]、野沢与志津[1]、吉川雄朗[2]、谷内一彦[2]
（[1]味の素株式会社、[2]東北大学大学院医薬系研究科・医学部）

P-16　DPP4 阻害活性を有するサケ白子ペプチドの血糖値上昇抑制効果

高橋義宣[1]、小西達也[1]、鎌田　彰[1]、西村三恵[2]、西平　順[2]
([1]マルハニチロ株式会社、[2]北海道情報大学)

P-17　アミノ酸・ペプチドの摂取と運動の併用が糖代謝指標に及ぼす影響

田川亮一、上田啓輔、高井祥子、三本木千秋
(株式会社明治　研究本部　技術研究所　栄養研究部)

P-18　絶食による廃用性腸管粘膜萎縮に及ぼす経口グルタチオン（GSH）投与の効果

内田博之[1]、中島由加里[2]、大竹一男[1]、伊東順太[1]、森田匡彦[2]、神村彩子[2]、小林順[1]
([1]城西大学薬学部医療栄養学科、[2]協和発酵バイオ株式会社)

P-19　血漿中アミノ酸濃度と心血管疾患リスクの関連性の検討
－弘前大学 岩木健診プロジェクトデータを通じて－

中村愛理子[1]、相馬優樹[2]、小笠原悠[3]、菱田幸宏[1]、渡邊史子[1]、小松美穂[1,3]、中路重之[2,3]
([1]協和発酵バイオ株式会社、2 弘前大学大学院　医学研究科　社会医学講座、
[3]弘前大学大学院　医学研究科　先制栄養医学講座)